

あさの ちゃんねる

医療法人社団 浅ノ川

浅ノ川総合病院 広報誌

2016年新春号(年4回発行)

元気のある病院
元気のできる病院



新年のご挨拶

理事長 小市 勝之

あけましておめでとうございます。

昨年は多くの患者さんに浅ノ川総合病院をご利用していただき、ありがとうございました。ご紹介いただきました開業医の先生方や救急隊の方々の信頼に、今年もしっかりと応えていきたいと存じます。また、介護・療養施設や関連施設のご協力のおかげで、患者さんに切れ目ない医療と安心を提供できることを御礼申し上げます。

日本は世界でもトップクラスの長寿国ですが、最近はマスコミなどで、介護難民、老老介護さらに介護離職などの話題を目にします。本来、長寿は喜ばしいことであり、経済発展の成果であり、福祉の充実や文化の成熟をも示していると思います。少なくとも私たちは、人生の最後をもっと幸せに過ごすことができるはずです。それには、同じ長生きでも、健康で病気にならないことが重要です。日本人の死因の1位は癌、2位は心疾患、3位は肺炎、4位は脳卒中です。病気にならないためには性別や年齢に応じたがん検診を受け、さらに生活習慣、すなわち喫煙や飲酒、食事、運動に注意し、高血圧、糖尿病、高脂血症などのチェックが必要です。しかし、私たちは何か症状が出るまで、病気に無頓着なことが多いと思います。さらに、何に注意しなければいけないのか、どの病気になりやすいのかは、各人各様であり個人差があります。当院には、病気や健康管理の専門家がいます。その知識や経験を基に、皆様に適切なアドバイスができると考えています。そのためには検診や人間ドックの機能を充実させるとともに、もっと地域に開かれた病院にしていきたいと考えています。

私たちは、病気を治療することによって、患者さんやその家族の生活に役立つことが大切だと考えています。そして、その価値が最大になることに意義があります。これからは、いつまでも自分の足で歩くことができ、自分の頭で判断できる健康寿命を延ばすことを、皆様と共に考えていきたいと思っています。今年もどうか宜しくお願ひいたします。



病院の理念

「皆様の信頼を得る、思いやりのある医療を提供します。」

病院の方針

- 新しい知識と技術を身に付け、質の高い医療を提供します。
- 患者の皆様にやさしい、活気にあふれる病院を目指します。
- インフォームドコンセント(説明と同意)に基づいた治療を行います。
- 地域の医療機関との連携を深め、地域医療の充実に貢献します。
- 安全性を考え、責任の持てる医療を提供します。

形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質 "Quality of Life" の向上に貢献する、外科系の専門領域です。具体的には、ケガ、顔面骨折、やけど、あざ、腫瘍、先天異常、皮膚潰瘍、がんの切除・再建、乳房再建および美容外科、などについて専門的知識と診療技術を持ち、これらの領域に関して適切に対応する診療を行い、必要に応じて他領域の専門医と共同して治療を行っております。表. 1に示すような疾患・病気を扱っております。

現在、当科では常勤の医師は私一人で、マンパワーには欠けますが、図. 1の診療形態で午前の外来診療と午後の手術、回診をこなしております。昨年より毎週月曜日、金沢医科大学形成外科学教室より応援の医師を派遣いただいております。

さらに、院内の褥瘡回診を、WOCナース*、薬剤師、リハビリスタッフ、栄養士たちとチームで定期的回診を行い、褥瘡の発生の予防・治療も行っております。昨年度は、95名の褥瘡患者の治療にあたり、延べ300回近く往診を行っております。形成外科で治療を受けた方々が、笑顔で再び社会生活に復帰していく姿を見ることが、形成外科を専門とする私の最高の喜びであります。昨年度は、207件の手術を行っております。まだまだ手術件数としては少なめですが、皆様に少しでも貢献できればと考えております。

これ以外に、日本体育協会公認スポーツドクターとして、県のスポーツ医科学委員会に参加させていただき、国民体育大会、北信越体育大会などへの派遣、スポーツ指導者のための養成講座、ドーピングの啓蒙活動などに参加させていただいております。忙しくてあまり参加しておりませんが、障害者のためのホースセラピーのNPOにも発起人の一人として参加させていただいております。

私は、金沢市菊川の生まれで、金沢泉丘高校を卒業後、自治医科大学医学部を卒業し、舳倉島、能登島診療所などの僻地等を勤務し、以前勤務していた公立能登総合病院より当院へ勤務することになって11年目となりました。8年前より、家庭菜園で、トマト、ナス、キュウリ、シットウなどの夏野菜や、ねぎ、玉ねぎなどの野菜を育て収穫したり、バラを育てるのが趣味となっております。3年少し前より犬(マルチーズ)も家族に加わり、時間があると散歩に出かけるのが私の楽しみです。

今後ともよろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。 * WOCナース…皮膚・排泄ケア領域の認定看護師

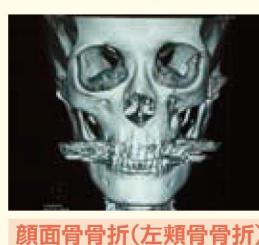


図. 1 診療内容

表. 1

形成外科で取り扱う疾患

- ・新鮮外傷、新鮮熱傷
- ・顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷
- ・唇裂・口蓋裂
- ・手、足の先天異常、外傷
- ・その他の先天異常
- ・悪性腫瘍およびそれに関する再建
- ・瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド
- ・褥瘡、難治性潰瘍
- ・美容外科
- ・その他



	午 前	午 後
月	外来診療	手術
火	外来診療	褥瘡会議・褥瘡回診
水	外来診療	手術
木	外来診療	予約外来、CO2レーザ治療
金	外来診療	手術
土	外来診療	



連携登録医のご紹介

今回は、金沢市堅田町の『前川医院』を
ご紹介いたします。

当院は、昭和23年に先代 前川 弘が金沢市郊外で診療所を開設して以来、多くの皆様から信頼される地域の「かかりつけ医」を目指し、笑顔と丁寧な診療を心がけて参りました。

当院は、風邪などの急性期疾患から生活習慣病などの慢性疾患、往診をはじめ在宅医療(在宅支援診療所)、すこやか健診をはじめとして各種健診や予防接種など、病気のことだけではなく、健康のことについても気軽に相談できる「かかりつけ医」として、地域の皆様のお役にたてるよう今後も、より一層充実した診療を心がけて地域の皆様方のご期待にそえるようスタッフ全員笑顔を忘れず、心を一つにして毎日努めてまいりたいと思っています。



[院長 前川 信政 先生]

前川医院

院長：前川 信政

診療科：内科、小児科、リハビリテーション科
(内視鏡検査) 食道、胃、十二指腸

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	○	○	○	○	○*	/
14:00～18:00	○	○	○	○	○	/	/

※土曜は 13:00まで

休診日：第2土曜、日曜、祝日

往診、訪問診療：あり

各種健診、予防接種：あり

住所：〒920-0164

石川県金沢市堅田町乙 132 の 1

電話：076-258-2087

FAX：076-258-0216

駐車場：あり

交通アクセス：車……森本駅より7分

徒歩……森本駅より17分



医院外観



連携登録医

地域の医療機関と浅ノ川総合病院の相互連携を一層緊密にし、適切で切れ目のない医療の提携を目指して新たに開始された「連携登録医制度」に登録していただいている医療機関の先生方です。

部門紹介 施設管理課・管財課

施設管理課について

施設管理課では建物・設備の維持管理を行っておりますが、電気・水道・ガス・重油に関する適切な運用も重要な仕事です。

新聞報道によると、「政府は、エネルギーを多く消費する白熱灯と蛍光灯について、国内での製造と国外からの輸入を、2020年度を目処に実質的に禁止する方針を固めた。」とありました。これは省エネ対策の一環として消費電力の少ない発光ダイオード(LED)への切り替えを促す狙いですが、病院内すべての照明器具の切り替えには大きな経費がかかるため、施設管理課では、数年にわたり計画的に予算を組み、切り換えることを考えております。皆様のご自宅はいかがでしょうか。

ただし、電球や蛍光灯の在庫が無くなるまでは使用できますし、まだ、法律が可決された訳ではありません。政府は来年度にも省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)の政令を改める方針ですが、早くもLED照明への切り替え詐欺が現れているそうです。くれぐれも騙されないようにお気をつけください。



管財課について

管財課では、注射針やガーゼなどの医療材料や、CT装置や内視鏡スコープなどの医療機器、鉛筆やノートなどの事務用品、待合室のソファーや机などの備品を扱っております。現在、医療材料の種類は1,200メーカー、40,000アイテムといわれ、医学の進歩と共に日々新しい商品が開発されては消えていき、製品のライフサイクルが短いため、常に同種同効分類を行い、コストマネジメントを行うことが重要になります。



当院では世界一痛くない針と言われる細い注射針を採用していますが、患者さんにとって、病院スタッフにとって、負荷が少なく低侵襲で、扱いやすく安全な医療材料を安価で円滑に供給することはもちろんのこと、医療の質と経営の質という車の両輪を満たしながら、広い視野で評価と判断を行い、裏方としてバックアップしていきたいと思います。

行事レポート

「平成27年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」開催

当院では救急隊と病院の連携を強化し、救急医療の向上を図るために、救急症例検討会を定期的に開催しております。平成27年12月1日(火)当院で「平成27年度 浅ノ川総合病院 救急症例検討会」が開催され、石川県、富山県の救急隊員、当院職員あわせて約80名が出席しました。

特別講演では、金沢脳神経外科病院 副院長 池田清延医師から「見逃すな 脳卒中からの警告」と題し、脳卒中の種類ごとの特徴、警告や観察点などが話されました。症例検討では「頭部外傷・逆行性健忘」と「脳梗塞」について講演発表が行われました。「救急活動や自身の健康について勉強になった」「わかりやすい説明で今後の救急活動に活かせる」「改めて救急搬送時の観察や問診においての注意点を勉強できた」等のお言葉を頂きました。

今後も当院は地域の救急隊と「顔の見える連携」を推進し、よりよい救急医療を地域に提供できるよう努めています。

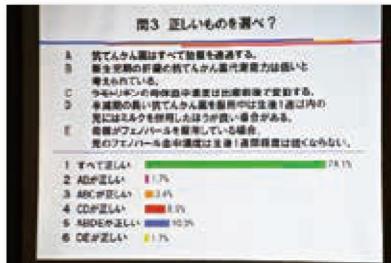


池田 清延医師



「第3回石川県てんかん医療研究会教育セミナー」開催

平成27年11月29日(日)金沢ニューグランドホテルにて「第3回石川県てんかん医療研究会教育セミナー」を開催しました。本セミナーは当院のてんかん・機能外科部長の川村哲朗医師が会長として、北陸のてんかん医療の充実と医師の育成を目的に開催しております。第3回となる今回は県内外から地域医療に携わる医師、コメディカル約90名が参加しました。セミナーでは「てんかんの画像診断」「症候学からみたてんかん発作」「小児難治性てんかんの診断」「難治てんかんに対する緩和的外科治療の実際」「てんかんと妊娠：Update」について講演がなされました。各講演ではクイズ形式の問答が行われ、活発に議論が展開されました。今後も当院はてんかん医療の充実と臨床研修の推進に努めています。



川村 哲朗医師

西医師にインタビューしました!

産科センター

Q1：浅ノ川総合病院 産婦人科の健診について教えてください。

A：3D・4D超音波で赤ちゃんのかわいい表情が見れますよ。

産婦人科はデリケートな診療科です。女性医師もいますので、是非当院産婦人科を受診してみませんか。予約制で待ち時間が短くなり、仕事の合間に健診を受けに来られる方もいます。



西医師(下段中央)と
産科センタースタッフ



Q2：浅ノ川総合病院 産科センターで取り組まれていることについて教えてください。

A：妊娠中では、**安産教室**、**骨盤ケア教室**を行っています。

安産教室は、妊娠中期に行う「育児教室」と妊娠後期に行う「出産教室」を分けて開催しています。中期の「育児教室」では、赤ちゃんの沐浴指導やおむつ替えなどを体験してもらいます。お母さんだけでなく、お父さん、おじいちゃん、おばあちゃんなど、ご家族どなたでも参加いただけます。後期の「出産教室」では、お産の流れや分娩時の呼吸法などを指導しています。安心して出産していただくための教室です。

骨盤ケアは、専門の助産師が指導しております。妊娠中は骨盤の広がりにより、腰痛や恥骨痛がよく見られます。**骨盤ケア**によって、この痛みを軽減することが可能です。

産後では、**おっぱい外来**、**ベビーマッサージ**を行っています。

おっぱい外来は、出産直後から退院後も、授乳についてサポートしています。授乳法、乳房トラブル、卒乳についての相談のほか、育児中の悩み相談も行っております。当院で出産された方はもちろん、他院で出産された方のご相談もお伺いしております。**ベビーマッサージ**は、お母さんと赤ちゃんのコミュニケーション方法の一つです。安全かつご自宅でも繰り返し行えるマッサージ法を指導しています。生後2ヶ月から、親子で参加いただけます。

今後は、今まで以上に産後の母子支援(育児支援)に力を入れていきたいと考えています。

Q3：浅ノ川総合病院 産科センターでは、どのような出産が可能ですか。

A：「安心して臨める出産」を理想とし、スタッフ一同、全力で出産のサポートをしています。一人一人に時間をかけ、丁寧に対応することが可能です。

また、総合病院であるというメリットもあります。他科との連携があり、合併症のある妊婦さんの管理もしっかりと行っています。

妊娠中にバースプランを用いて、妊婦さんの希望を確認し、また不安を解消できるようお手伝いしております。妊娠中にバースプランといつても、決して難しいものではありません。出産の時に、ビデオ撮影をしたい、立ち合い出産をしたいなどのご要望でもかまいません。

医学的に問題のない範囲で、あらゆる出産に関するご希望に応えるべく、努力と工夫をしております。

Q4：これから出産を予定している妊婦さんに一言いただけますか。

A：「お産は安全」が当たり前ではなく、「安全なお産に向けて準備すること」が大切です。そのためには、きちんと妊婦健診を受けるなど、お母さん自身の自己管理と、ご家族の方、私たち産婦人科スタッフが、万全な体制でお産をお手伝いすることで「安全なお産」が実現されると考えています。

お産は大仕事です。そのお産の主役は、お母さんです。主役といえども、一人で乗り越えるものではありません。ご家族、そしてお腹の赤ちゃんが、お母さんを応援し、一緒に頑張ります。また、産婦人科スタッフはお産を見守り、必要な場面でお手伝いをさせていただきます。

みんなで、新しい赤ちゃん、そして新しいお母さんを迎えましょう。

新任医師紹介



よろしく
お願いします！

内科

よねやま ひろし
米山 宏



専門分野：内科一般、感染症

認定資格：日本内科学会総合内科専門医、指導医
日本感染症学会専門医、指導医
日本化学療法学会抗菌化学療法指導医
インフェクションコントロールドクター

平成27年11月より浅ノ川総合病院内科に勤務となりました米山宏と申します。一般内科、感染症が専門です。平成3年に金沢大学を卒業後、いくつかの北陸地方の病院勤務を経ておりました。そして、前任地は富山県の南砺市民病院でした。

前任地は山間部に位置する日本でも有数の高齢化地域であり、身体機能の低下により発症する誤嚥性肺炎、慢性心不全などの疾患をもつ患者さんを多く診療しておりました。現在高齢化の波は都市部にも及んできており、このような疾患の診療にお役にたてればと思います。

また、近年インフルエンザやノロウィルスによる胃腸炎など医療機関や福祉施設などでの大規模な感染症の発生が問題となつておらず、感染管理に貢献できるように努めていきたいと思っております。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

トピックス 「第4回全国医療経営士実践研究大会 金沢大会」優秀賞受賞!!

一般社団法人日本医療経営実践協会が主催する「第4回全国医療経営士実践研究大会 金沢大会」が平成27年10月31日(土)、11月1日(日)の両日、石川県地場産業振興センターにて開催されました。

「地方創生の時代!!新たな地域医療の実現を目指して~医療経営士が解決すべき課題と担うべき役割~」をテーマとし、全国の医療経営士*18名が「地域連携」「組織効率化・強化」「患者サービス・広報」に関する演題発表を行いました。当院には医療経営士が7名在籍し、その1人である地域医療連携室 西田主任が「地域連携と広報効果～顔の見える病院を目指して～」と題し、地域連携と広報に関する取り組み・効果に関する発表を行い、優秀賞に輝きました。講演後は大会参加者を交え“医療経営士は医療に関する知識と実践力を生かし、地域にどう貢献できるのか”など、熱いディスカッションが展開されました。今後も当院では医療経営士を含め職員全員が積極的に様々な課題に取り組み、各部門・多職種が一丸となって顔の見える病院・地域のための病院を目指し努力していきます。



写真提供：(一社)日本医療経営実践協会

*医療機関をマネジメントする上で必要な医療および経営に関する知識と、経営課題を解決する能力を有し、実践的な経営能力を備えた人材。
1級、2級、3級の有資格。

がん放射線療法看護認定看護師に聞きました！

Q1：「がん放射線療法看護認定看護師」について教えてください。――――――

A：体の負担が少ないとされる放射線治療は、高齢化が進む日本では増え需要が伸びると予測されます。がん放射線療法看護認定看護師は患者さんが放射線治療をスムーズに進め、治療効果が最大限に高まるようにサポートします。

具体的には、放射線治療計画や病歴から副作用を予測し、患者さんの全体像を捉えた個別性のあるケアにより副作用を最小限に抑えます。また病気に対する精神的なショックや治療への不安を和らげ、心身共に安全安楽に治療が完遂できるように支援します。さらに実践だけではなく、放射線療法看護に関してスタッフへの指導・相談も行います。



さくだ けんいち
東館6階 作田 憲一 副看護師長

Q2：どのような活動をしていますか？――――――

A：現在勤務している病棟にはガンマナイフとノバリス治療を受ける患者さんが多く入院されます。治療開始前に患者さんのもとに伺い、緊張や不安・苦痛等がないかを確認しています。また予測される副作用について分かりやすく説明し、副作用の出現する時期や回復までの過程、悪化を防止する方法、治療中から治療後の生活に関してなど、患者さんの個別性に応じた説明や指導を行っています。

治療開始から終了までは放射線治療を完遂できるように、予測される副作用や患者さんの身体的または精神的苦痛などに関する情報を医師や放射線技師、病棟スタッフらと共有し、チームで適切なケアや支援方法について相談し実践しています。その他、外来で放射線治療中の患者さん、他病棟で放射線治療を受けている患者さんへの相談も受けています。

Q3：やりがいや苦労話などあれば教えてください。――――――

A：放射線治療に関してはまだまだ情報が少なく、患者さんや病院スタッフの中にも放射線に対する漠然とした不安を訴える方がいらっしゃいます。私のがん放射線療法認定看護師としての実践・指導・相談がより安心・安全・安楽な放射線治療に少しでも役立てることが何よりのやりがいでです。また先進的な放射線治療に対する看護を自身で開拓できることにもやりがいを感じています。

編集後記

新しい年を迎えてウッキッキー。2016年の申年はウキウキの年にしたいものです。

さて、『あさのちゃん』とは誰でしょうと聞いたとき、当院の職員ならば、9割が顔を思い浮かべくれると信じたいのですが、いかがですか？似顔絵までは要求しませんが・・・。というのも実は、最近、取材依頼が舞い込んできているのです。

内容はあさのちゃんの経歴や趣味？を冊子に載せてくれるという程度ですが、医療系のキャラクターの部類に入っているらしく、薬局でよく見かけるサトちゃん（佐藤製薬）と同類になっております。何かと話題のうがい薬の力

バくんもそうかな??掲載された折には是非ともご覧いただきたいです!!この場でも紹介させていただきます。

このような取材依頼があった理由の一つは、きっと当院の職員が各地の学会や様々な発表の場で、私、あさのちゃんを紹介してくれたおかげだと思うのです。ゆるきゃらグランプリには出場できていないのですが、医療機関でキャラクターがあるのは珍しく、声をかけてくれるみなさんはとても優しく、いつも感謝しています。

そして、このような取材をきっかけに、もっともっと浅ノ川総合病院をアピールし、元気のあるところをお見せしたいと思います！



問い合わせ先

広報誌に関する質問・投稿・ご意見などは広報室へお願いいたします。

TEL 076-252-2101(代) メールアドレス：kouhou-1204@asanogawa-gh.or.jp